

施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

■ 第2次総合計画

基本方針(政策)	7	支え合い、助け合う福祉のまちづくりを推進します
計画項目(施策) ＜施策分野＞	22	生きがいをもって暮らし続けられる高齢者福祉の推進 ＜高齢者福祉＞

所管部局	所管部局長の氏名
健康長寿福祉部	岸本 繁之

1. 総合計画で掲げている目的など **PLAN**

施策の目的	高齢者が住み慣れた地域で安心して自立した生活を送れるよう、地域社会全体で支え合う体制の整備を進めます。また、高齢者が生きがいをもっていきいきと暮らせる健康長寿のまちをめざします。
施策方針(めざす姿)	高齢者の安心で自立した生活を支援するため、保健、医療、介護、地域住民等の連携による地域包括ケアの構築を図ります。また、高齢者のもつ多様な能力を地域に還元できるよう、高齢者の社会参加や生きがいづくりを進めるとともに、生涯にわたり現役生活を実践し、いつまでも心身ともに元気な人生を過ごす生涯現役社会をめざします。

【参考】施策に関連する個別計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第5期京丹後市高齢者保健福祉計画	社会情勢の変化や今後の高齢化への対策をより一層推進するため、市が目指すべき高齢者保健福祉の基本的な政策目標を定め、具体的に取り組むべき施策を明らかにすることを目的として策定 ※ 老人福祉法第20条の8に規定する計画で、市町村老人福祉計画として策定。また、介護保険法第117条の規定に基づき策定される介護保険事業計画と一体的に策定	平成24年3月	平成24年度～平成26年度	
第6期京丹後市高齢者保健福祉計画	本市がめざすべき高齢者保健福祉の基本的な政策目標を定め、具体的に取り組むべき施策を明らかにするもの(老人福祉法第20条の8に規定する老人福祉計画と介護保険法第117条に基づく介護保険事業計画を総合的かつ一体的に策定)	平成27年3月	平成27年度～平成29年度	
京丹後市健康増進計画	市民・関係団体・行政が一体となって、健康づくりに取り組むため策定 ※ 計画の中間年にあたる平成23年度に、目標の達成状況の中間評価と見直しを実施。	平成19年3月	平成19年度～平成28年度	平成24年3月(中間評価・見直し)

2. 行政の主な取組と構成事務事業一覧

DO

CHECK

行政の主な取り組み		予算額(単位:千円)		事務事業の概要				評価結果		
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課	H26決算額	H27予算額	根拠法令	財政負担	単独事業	事業種別	施策貢献度	今後の方向性
				(一般財源)						
① 介護保険・地域支援事業の推進										
○ 高齢者が介護を必要とする状況になっても、地域で自立した生活が継続できるよう、在宅サービスの提供を進めます。										
○ 高齢者一人ひとりに応じた効果的な介護予防や生活支援事業の実施に引き続き努めます。										
○ 施設サービスについては、入所待機者の状況や保険料負担の影響を検討しながら、在宅サービスとの連携により適正なサービス提供が可能となるよう努めます。										
1	福祉有償運送運営助成事業	長寿福祉課	14,183	19,876	市規定	府・一部	含む	サービス	A	現状維持
福祉有償運送サービスを実施する事業者に補助金交付(利用者285人・10,844回)										
2	老人日常生活用具給付等事業	長寿福祉課	4	89	市規定	単費	○	サービス	B	現状維持
要援護老人及びひとり暮らし老人に対し日常生活用具を給付(老人福祉電話の貸与:継続7件、休止2件)										
3	介護サービス利用負担軽減事業	長寿福祉課	16,703	20,000	国規定	府・一部	-	サービス	A	現状維持
介護保険サービス利用者負担額の軽減を行う社会福祉法人等に助成金を交付(交付14法人等、対象者550人)										
4	老人福祉施設建設資金借入金償還補助金	長寿福祉課	35,338	34,142	市規定	単費	○	施設整備	A	現状維持
高齢者福祉の拠点施設整備債務の償還金額の一部を助成(10件)										
5	地域介護福祉空間整備推進補助金	長寿福祉課	6,629	-	国規定	国府全額	-	施設整備	A	現状維持
定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の整備経費の一部を助成(1件)										
8	介護基盤緊急整備等特別対策事業費補助金【明許繰越】	長寿福祉課	60,000	-	国規定	国府全額	-	施設整備	A	現状維持
介護基盤の緊急的な整備を行う事業者に対し費用の一部を助成(2件)										
6	介護基盤緊急整備等特別対策事業費補助金	長寿福祉課	11,153	-	国規定	国府全額	-	施設整備	A	現状維持
介護基盤の緊急的な整備を行う事業者に対し費用の一部を助成(5件)										
7	介護予防安心住まい推進事業	長寿福祉課	11	1,600	府規定	国府全額	-	サービス	B	現状維持
住宅改修費用の一部を助成(対象費用16万円を上限として、2/3)(対象事業1件)										
9	二次予防事業対象者把握事業	長寿福祉課	1,848	765	義務	国・一部	-	-	B	縮小
生活機能低下のおそれのある高齢者を把握するため、基本チェックリストによる調査を実施(9,335人)										
10	通所型介護予防事業	長寿福祉課	19,576	26,837	義務	国・一部	-	-	S	拡大
65歳以上の対象高齢者に、機能向上・栄養改善プログラムを実施(参加実人数206人)										
11	訪問型介護予防事業	長寿福祉課	5,827	6,559	義務	国・一部	-	-	A	現状維持
65歳以上の対象高齢者に、看護師・保健師による訪問を実施(実施実人数311人)										
12	福祉用具・住宅改修支援事業	長寿福祉課	8	20	国規定	国・一部	含む	サービス	A	現状維持
介護保険における住宅改修費の支給の申請に係る理由書の作成に対して補助金を交付(4件)										
13	地域自立生活支援事業	長寿福祉課	46,897	54,126	国規定	国・一部	含む	サービス	A	現状維持
高齢者世帯や重度障害者等への配食サービス(21,997食)、通報・相談対応(相談・連絡回数534回)										

14	網野通所介護事業(網野通所介護事業所一般経費を含む)	長寿福祉課	46,258	52,541 (3,961)	国規定	単費	○	サービス	A	現状維持
要支援・要介護認定者に対し、通所のために必要な介助や機能訓練等を実施(延利用者5,378人)										
15	弥栄通所介護事業(弥栄通所介護事業所一般経費を含む)	長寿福祉課	38,192	-	国規定	単費	○	サービス	A	終了・廃止
要支援・要介護認定者に対し、通所のために必要な介助や機能訓練等を実施(延利用者2,962人)										
16	老人保健施設介護サービス事業(老人保健施設一般経費等を含む)	長寿福祉課	554,770	516,453 (14,010)	国規定	単費	○	サービス	A	現状維持
老人保健施設ふくじゅでリハビリを中心とした医療サービスと日常生活の介護サービスを提供										

② 地域包括ケア体制の構築

○ 地域包括支援センターを中心に、高齢者と家族への相談や支援、権利擁護、ケアマネジャーへの支援等を行い、保健・医療・福祉が連携した包括的・継続的な地域ケア体制を構築します。

17	老人保護措置事業	長寿福祉課	140,358	150,179 (118,919)	国規定	単費	○	サービス	A	現状維持
在宅での生活が困難な高齢者を養護老人ホームに入所措置(26年度末入所者数:67人)										
18	生活管理指導事業	長寿福祉課	8	161 (161)	市規定	単費	○	サービス	A	現状維持
社会生活の適応困難な高齢者に対し養護老人ホームの短期間宿泊サービスを提供(利用者1人・4日)										
19	介護・福祉人材育成支援事業	長寿福祉課	1,391	-	なし	単費	○	サービス	A	終了・廃止
介護施設等において適切にたんの吸引等を行うことができる介護職員養成のための研修経費										
20	地域包括支援センター事業	長寿福祉課	99,722	103,390 (12,510)	義務	国・一部	-	-	S	拡大
地域包括支援センターを核とした各種関係機関との連携強化、高齢者の総合相談や実態把握										
21	家族介護支援事業	長寿福祉課	5,958	6,227 (3,114)	国規定	国・一部	含む	サービス	A	現状維持
在宅介護を行っている家族への支援事業(認知症サポーター養成講座、家族介護教室等)を実施										
22	成年後見制度利用支援事業	長寿福祉課	251	1,796 (898)	国規定	国・一部	含む	サービス	A	拡大
高齢者支援関係者への成年後見人制度の紹介及び申立支援の実施(相談件数29件)										
23	地域包括ケア推進事業	長寿福祉課	2,796	4,199	国規定	国府全額	-	サービス	A	拡大
高齢者の終末期在宅療養ケアに係る多職種連携研修、認知症高齢者と家族介護者支援を実施										
24	介護予防支援事業	長寿福祉課	21,198	32,371 (2,904)	義務	単費	○	-	S	拡大
要支援1又は2と判定された方に対し、要介護状態への移行予防の観点から、介護予防ケアマネジメントを実施										

③ 高齢者への自主的活動の支援、学習機会の提供

○ 地域で生きがいづくりや健康づくりに取り組む高齢者の仲間づくりを支援します。

○ 趣味や教養講座、スポーツ・レクリエーション、ボランティア活動等に高齢者が気軽に参加できる環境づくりを進めます。

25	老人クラブ活性化支援事業	長寿福祉課	8,347	8,835 (1,181)	国規定	府・一部	-	サービス	A	現状維持
老人クラブの活動に対して補助金を交付(100クラブ、2,553人)										
26	網野高齢者すこやかセンター施設管理事業	長寿福祉課	8,662	8,759 (4,931)	市規定	単費	○	維持管理	A	現状維持
網野高齢者すこやかセンターの維持管理・運営(入浴利用17,465人、研修室等利用77件)										
27	指定管理施設運営事業	長寿福祉課	11,007	10,778 (10,778)	市規定	単費	○	維持管理	A	現状維持
高齢者福祉に関する施設のうち、指定管理者制度を導入している施設の運営管理(5施設)										
28	シルバー人材センター運営助成事業	長寿福祉課	23,100	23,100 (23,100)	国規定	単費	○	サービス	A	現状維持
シルバー人材センター事業を助成(会員数776人、受注件数5,644件)										
29	介護予防普及啓発事業	長寿福祉課	1,230	1,835 (179)	義務	国・一部	-	-	A	現状維持
65歳以上の高齢者に対し、予防のための実践教室・講習会・講座を開催(521回実施)										
30	地域介護予防活動支援事業	長寿福祉課	130	739 (165)	義務	国・一部	-	-	A	拡大
介護予防に関わるボランティア等の人材や地域活動組織の育成・支援等を実施(活動人数19人)										

④ 生涯現役推進事業(仮称)の推進

○ 誰もが健康感が良好な状態で、自立した生活を送りながら、いきいきと活動し、長寿による豊かさを実感することができる社会をめざします。

31	敬老祝い事業	長寿福祉課	25,692	26,730 (5,130)	市規定	単費	○	サービス	A	現状維持
地区主催の敬老会へ補助金交付(参加率41.2%)、喜寿・100歳以上の方へ記念品贈呈										
32	健康長寿のまちづくり推進事業【取組⑤にも該当】	長寿福祉課	2,626	3,028 (1,028)	なし	府・一部	-	サービス	A	現状維持
第6回健康長寿のさとづくりフォーラムを開催(来場者470人)、百歳健康長寿秘けつ集を作成										
33	高齢者安心生活支援事業	健康推進課	852	1,045 (1,045)	なし	単費	○	サービス	A	現状維持
包括支援センター等との連携の下、高齢者を対象に保健師等が訪問指導を実施(延302件)										

⑤ 百寿者調査の実施

○ 100歳以上のかたの調査を行い分析することで、地域の長寿者の状況や特徴、長寿の秘けつを学び健康長寿社会の実現を図ります。

34	健康長寿のまちづくり推進事業【再掲】【取組④にも該当】	長寿福祉課	2,626	3,028 (1,028)	なし	府・一部	-	サービス	A	現状維持
第6回健康長寿のさとづくりフォーラムを開催(来場者470人)、百歳健康長寿秘けつ集を作成										

上記の「行政の主な取組」への位置付けが困難な事業

35	高齢者福祉一般経費	長寿福祉課	549	617 (617)	なし	単費	○	内部管理	A	現状維持
高齢者福祉施設の維持管理及び高齢者福祉事業に必要な事務経費										

計	1,211,274	1,116,797 (301,295)
---	-----------	------------------------

【参考】総合計画で掲げている市民等の役割

市民等の役割	① 高齢者自身が積極的に社会参加することで、介護予防や認知症予防につながります。 ② 高齢者自身が社会を支え、社会の活力を生み出すという意識を持ちます。
--------	---

【参考】個別計画で掲げている目標値

指標名	説明・備考	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
			年度	年度	年度	年度		
京丹後市健康増進計画								
日常生活における歩数	男性(70歳以上)	歩	5,479	H17	5,447	H22	6,800歩以上	H28
	女性(70歳以上)	歩	4,143	H17	4,921	H22	5,500歩以上	H28
何らかの地域活動を実施している人の割合	男性(60歳以上)	%	28.5	H17	30.8	H22	50.0%以上	H28
	女性(60歳以上)	%	25.7	H17	37.3	H22	50.0%以上	H28

3. 総合計画で掲げている施策方針(めざす姿)とめざす目標値

施策方針 (めざす姿)	高齢者の安心で自立した生活を支援するため、保健、医療、介護、地域住民等の連携による地域包括ケアの構築を図ります。 また、高齢者のもつ多様な能力を地域に還元できるよう、高齢者の社会参加や生きがいづくりを進めるとともに、生涯にわたり現役生活を実践し、いつまでも心身ともに元気な人生を過ごす生涯現役社会をめざします。							
	指標名	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
めざす 目標値	75歳以上人口に占める要介護認定者の割合	%	22.6	H26	23.1	H26	24.8	H36
	介護保険地域密着型サービス事業所数	か所	20	H26	22	H26	25	H36
	認知症サポーターの数(養成講座受講者の累計)	人	6,562	H26	7,490	H26	11,500	H36
	シルバー人材センター会員数	人	821	H26	776	H26	900	H36

4. 施策方針(めざす姿)に対する現状評価

CHECK

施策方針(めざす姿)に対する主な成果(アウトカム)	施策方針(めざす姿)の達成に向けての課題
<p>○介護保険地域密着型サービス事業所の整備に当たり、京都府の制度を活用した助成を行うことで、事業者が円滑に施設整備を進めることができた(平成26年度開設事業所数:2事業所)</p> <p>○シルバー人材センター、老人クラブに運営助成を行うことで、高齢者の生きがいづくり、社会参加の促進、就労機会の充実を図った。</p> <p>○健康大長寿さとづくりフォーラムの開催、百歳健康長寿の秘けつ集の作成などで、健康長寿の要因を様々な角度から検討・分析を行い、市民の健康づくり、生きがいづくりに対する意識の高揚と普及啓発を図ることができた。</p> <p>○これまで市内での開催ができなかった「喀痰吸引研修」について、久美浜病院と弥栄病院の協力、京都府との連携により市内での研修実施が可能となり、たんの吸引等の行為を行う介護職員等を養成する体制の充実が図られた。</p>	<p>○あらゆる世代の市民が「生涯現役」で活動を見出し、支えあいを行うことで高齢期を迎えても安心して自立した生活を送ることができる社会の実現に向け、様々な施策を体系的に推進していく必要がある。</p> <p>○高齢者が住み慣れた地域で生活を継続できるようにするため、地域包括ケアシステム(心身機能の状態や生活環境の変化に応じて、介護、医療、生活支援、介護予防を柔軟に組み合わせ提供する仕組み)を構築することが必要で、その構築に向けて、「介護予防・日常生活支援総合事業」「生活支援体制整備事業」「在宅医療・介護連携推進事業」「認知症総合支援事業」に取り組んでいく必要がある。</p>

5. 施策の進捗状況の評価[施策方針(めざす姿)の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK

進捗状況区分	評価	理由
◎ 予定以上に進んでいる	○	シルバー人材センター会員数は、前年度末と比較して11人減少(H25年度末会員数787人)したものの、受注件数と契約金額は増加した。 75歳以上の要介護認定者の割合は増加傾向にある一方で、本市の百歳以上高齢者人口は全国平均の約2.5倍、府平均の約2倍となっているが全国、府平均と比べ低くなっている。 また、介護保険地域密着型サービス事業所についても、平成26年度に2事業所が開設することができた。 さらに、認知症サポーター養成講座の実施により、講座受講者の累計(認知症サポーター数)も増加した。
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

6. 今後の施策展開と歳出抑制の考え方(平成28~30年度までの3か年の主な取組)

ACT

区分	No.	具体的内容	説明(特定財源名、補完・代替措置等)
施策展開の考え方	1	新しい総合事業(介護予防・日常生活支援総合事業)の実施(介護保険事業で行っている介護予防訪問介護、介護予防通所介護事業を地域支援事業への移行、介護予防事業の推進等)	
	2	生活支援体制整備事業の充実(介護支援・見守りサポーター活動事業の充実等)	
	3	在宅医療・介護連携の推進(地域の医療・介護サービス資源の把握、医療・介護関係者の情報共有の支援、地域住民への普及啓発の充実)	
	4	認知症施策の推進(認知症初期集中支援チームの設置等)	
	5	生涯現役社会推進条例(仮称)の制定と施策の体系的な推進	
歳出抑制(歳入確保)の考え方			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	04福祉有償運送運営助成事業		
細事業名	01 福祉有償運送運営助成事業			決算書	P.150	
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実		
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)	執行率
14,183千円		17,332千円		3,149千円		81.8%
						(参考)当初予算額
						17,332千円

目的 福祉有償運送の実施を支援することにより、在宅の高齢者や障害者が住み慣れた地域社会の中で引き続き自立した生活を営めるよう支援し、地域福祉の向上を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

公共交通機関を利用することが困難な高齢者及び障害者に対し、移送サービスを提供する福祉有償運送の実施を支援することにより、在宅の高齢者や障害者が住み慣れた地域社会の中で引き続き自立した生活を営めるよう支援し、地域福祉の向上を図った。また、低所得者が利用した場合に事業者が減免した利用料に対し、補助を行った。

【事業実績】

実利用者数	285人	(H25: 283人)
延べ利用回数	10,844回	(H25: 11,465回)
福祉有償運送事業費補助金	13,408千円	(H25: 13,786千円)
総事業費(22,624千円) - 利用料等収入(9,216千円)		

【実績内訳】平成27年3月末現在 (単位:人)

利用登録者数等	区分	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計
	登録者数	101	92	138	72	61	71	535
	実利用者	81	53	61	23	21	46	285

(単位:回)

対象者 述べ 利用回数	区分	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計
	高齢者	554	649	1,171	204	316	398	3,292
	透析者	1,300	467	712	265	863	3,341	6,948
	障害者	92	156	84	31	71	170	604
	合計	1,946	1,272	1,967	500	1,250	3,909	10,844

【利用料減免補助】(※京都府地域包括ケア総合交付金事業) 775千円

- ・社会福祉協議会減免分 704千円
- ・NPO法人のついで減免分 71千円

主な財源 府補 京都府地域包括ケア総合交付金(10/10) 774千円

評価・課題等

○高齢者や障害者の日常生活の移動手段として有効に利用され、地域福祉の向上が図れた。
○市からは事業費の収支不足分を補助金として支出しているため、事業者に一層効率的な事業運営を求めていく必要がある。

事業所管課 健康長寿福祉部/長寿福祉課

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	08老人日常生活用具給付等事業		
細事業名	01 老人日常生活用具給付等事業			決算書	P.150	
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実		
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)	執行率
4千円		89千円		85千円		4.4%
						(参考)当初予算額
						89千円

目的 要援護老人及びひとり暮らし老人等に対し、電磁調理器等の日常生活用具を給付又は貸与し、福祉の向上を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

65歳以上の要援護老人及びひとり暮らし老人に対し、必要に応じて日常生活用具を給付又は貸与を行うもの(対象者の収入に応じて負担額を設定)。
平成26年度は電磁調理器等の給付はなく、電話回線の休止が2件であった。

○電磁調理器等の給付	
給付件数	0件
○老人福祉電話の貸与	
継続設置	7件
新規設置	0件
休止回線	2件
休止手数料	4千円

主な財源

評価・課題等

ひとり暮らし老人等に対し、固定電話用の回線を貸与することで住み慣れた地域での生活の維持に貢献している。

事業所管課 健康長寿福祉部/長寿福祉課

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	09介護サービス利用負担軽減事業
細事業名	01 介護サービス利用負担軽減事業			決算書 P.152
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
16,703千円		18,873千円		2,170千円
			執行率	(参考)当初予算額
			88.5%	20,000千円
目的	介護保険サービス利用負担額の軽減を行う社会福祉法人等に対し、助成金を交付し、利用者負担軽減制度の円滑な実施を支援することで、高齢者福祉の増進を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>低所得者で生計の維持が困難である者が、介護保険サービスを利用した時の利用者負担額について、社会福祉法人等が軽減を行った場合に、軽減を行った社会福祉法人等に対して、市がその一部を助成した。</p> <p>○ 社会福祉法人等利用者負担軽減助成金 16,703千円</p> <p>助成金交付法人等数 14法人等</p> <p>利用者負担軽減対象者数 550人 (延べ 696人)</p>			
主な財源	府補	介護保険事業費補助金(3/4)	12,527千円	
評価・課題等	低所得で生計が困難な要介護被保険者等が介護サービスを利用する際の費用負担を軽減することで高齢者福祉の増進を図ることができた。			
事業所管課	健康長寿福祉部/長寿福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	10高齢者福祉施設整備助成事業
細事業名	01 老人福祉施設建設資金借入金償還補助金			決算書 P.152
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
35,338千円		35,339千円		1千円
			執行率	(参考)当初予算額
			99.9%	35,339千円
目的	社会福祉法人の施設整備に係る借入金の返済の一部を補助し、法人経営の安定と老人福祉施設の充実を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>介護が必要になった高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らせるように、高齢者福祉の拠点となる施設整備を行った法人に対し、施設整備に係る債務の償還金額の一部について補助を行った。</p> <p>補助対象：社会福祉施設を整備した社会福祉法人</p> <p>補助内容：整備に係る資金の元金又は利子の一部</p> <p>(償還終了年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別養護老人ホーム弥栄はごろも苑建設資金 4,178千円 (平成40年度) おおみや苑複合施設建設資金 11,640千円 (平成30年度) 特別養護老人ホームおおみや苑建設資金 5,000千円 (平成30年度) 特別養護老人ホーム第二丹後園建設資金 3,905千円 (平成36年度) 丹後園デイサービスセンター建設資金 1,500千円 (平成27年度) 養護老人ホーム満寿園改築資金 261千円 (平成40年度) 特別養護老人ホーム満寿園建設資金 4,665千円 (平成42年度) 久美浜デイサービスセンター建設資金 376千円 (平成28年度) 特別養護老人ホーム海山園建設資金 1,500千円 (平成33年度) 特別養護老人ホームふるさと建設資金 2,313千円 (平成49年度) <p>計 35,338千円</p>			
主な財源				
評価・課題等	○不足する介護・福祉サービス基盤の早期解消に向けた取組を行う社会福祉法人に対し、補助を行うことによって、介護・福祉サービス基盤の整備を推進することができた。 ○介護サービス事業所の施設が整ってきた状況で、おおむね制度目的を達成したため、既存施設の償還補助は継続しつつ、新規施設への償還補助については制度の廃止を含め、検討する必要がある。			
事業所管課	健康長寿福祉部/長寿福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	10高齢者福祉施設整備助成事業
細事業名	02 地域介護福祉空間整備推進補助金			決算書 P.152
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
6,629千円		6,629千円		0千円
			執行率	(参考) 当初予算額
			100.0%	0千円
目的	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の整備経費について、補助金を交付し、安心・安全な介護・福祉サービスの提供を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>国の地域介護・福祉空間整備推進交付金を活用し、安心・安全な介護・福祉サービスの提供を図るため、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の整備経費について、補助を行った。</p> <p>○対象事業 6,629千円 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業の実施のために必要な事業 利用者の心身の状況等の情報を蓄積し、随時適切に利用者からの通報を受け付けることができる通信機器及びシステムの導入等 設置主体：社会福祉法人 みねやま福祉会 施設名称：はごろも苑あんしんケアコールセンター24 所在地：京丹後市峰山町長岡 補助金額：6,629千円 ※交付基準額：1施設につき10,290千円</p>			
主な財源	国補	地域介護・福祉空間整備等交付金(10/10)	6,629千円	
評価・課題等	本事業の活用により、事業者が円滑に開設準備を進めることができた。			
事業所管課	健康長寿福祉部/長寿福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	10高齢者福祉施設整備助成事業
細事業名	03 介護基盤緊急整備等特別対策事業費補助金(繰越)			決算書 P.152
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
60,000千円		60,000千円		0千円
			執行率	(参考) 当初予算額
			100.0%	60,000千円
目的	地域の特性に応じた介護・福祉サービス基盤の整備を推進することにより、高齢者等が身近な生活圏域の中で、さまざまな介護・福祉サービスを利用できる環境を整える。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>地域における適切な介護サービスの提供等、安心・安全の確保を目的とした介護基盤の緊急的な整備を行う事業者に対し、介護基盤緊急整備等特別対策事業補助金を活用して補助を行った。</p> <p>○対象事業 60,000千円 介護基盤緊急整備・施設開設準備経費補助特別対策事業</p> <p>① 施設名称：あしぎぬホームなごみ 設置主体：社会福祉法人 あしぎぬ福祉会 施設種別：小規模多機能型居宅介護事業所(登録定員25人) 補助金額：30,000千円 ※交付基準額：1施設につき30,000千円</p> <p>② 施設名称：いさなご荘(あけぼの荘サテライト) 設置主体：社会福祉法人 不動園 施設種別：小規模多機能型居宅介護事業所(登録定員15人) 補助金額：30,000千円 ※交付基準額：1施設につき30,000千円</p>			
主な財源	府補	介護基盤緊急整備等特別対策事業費補助金(10/10)	60,000千円	
評価・課題等	<p>○本事業の活用により、事業者が円滑に施設整備を進めることができた。</p> <p>○府からの全額補助の制度であるため、府の制度改正の動向を注視していく必要があるとともに、補助金が廃止となる場合には、事業廃止を含め、補助金の見直しについて検討する必要がある。</p>			
事業所管課	健康長寿福祉部/長寿福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	10高齢者福祉施設整備助成事業	
細事業名	03 介護基盤緊急整備等特別対策事業費補助金			決算書	P.152
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
11,153千円		11,153千円		0千円	100.0%
				(参考) 当初予算額	7,200千円
目的	地域の特性に応じた介護・福祉サービス基盤の整備を推進することにより、高齢者等が身近な生活圏域の中で、さまざまな介護・福祉サービスを利用できる環境を整える。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>地域における適切な介護サービスの提供等、安心・安全の確保を目的とした介護基盤の緊急的な整備を行う事業者に対し、介護基盤緊急整備等特別対策事業補助金を活用して補助を行った。</p> <p>○対象事業</p> <p>(1) 施設開設準備経費補助特別対策事業 7,416千円</p> <p>① 施設種別：小規模多機能型居宅介護事業所（宿泊定員9人） 施設名称：あしぎぬホームなごみ 設置主体：社会福祉法人 あしぎぬ福祉会 補助金額：5,562千円 ※交付基準額：宿泊定員1人につき618千円</p> <p>② 施設種別：小規模多機能型居宅介護事業所（宿泊定員3人） 施設名称：いさなご荘（あけぼの荘サテライト） 設置主体：社会福祉法人 不動園 補助金額：1,854千円 ※交付基準額：宿泊定員1人につき618千円</p> <p>(2) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の実施のために必要な事業 2,873千円 施設種別：定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所（定員15人） 設置主体：社会福祉法人 みねやま福祉会 施設名称：はごろも苑あんしんケアコールセンター24 補助金額：2,873千円 ※交付基準額：1施設につき5,470千円</p> <p>(3) 自動火災報知設備等特別対策事業 864千円</p> <p>① 設置主体：社会福祉法人 丹後大宮福祉会 施設名称：おおみや苑あけだの家 補助金額：432千円</p> <p>② 設置主体：社会福祉法人 不動園 施設名称：不動園あけぼの荘 補助金額：432千円 ※①②交付基準額：1㎡あたり9千円</p>				
主な財源	府補	介護基盤緊急整備等特別対策事業費補助金（10/10）			11,153千円
評価・課題等	<p>○本事業の活用により、事業者が円滑に開設準備を進めることができた。</p> <p>○自動火災報知設備整備費用の一部を補助することにより、防火安全対策が強化された。</p> <p>○府からの全額補助の制度であるため、府の制度改正の動向を注視していく必要があるとともに、補助金が廃止となる場合には、事業廃止を含め、補助金の見直しについて検討する必要がある。</p>				
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課				

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	16介護予防安心住まい推進事業	
細事業名	01 介護予防安心住まい推進事業			決算書	P.154
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
11千円		11千円		0千円	100.0%
				(参考) 当初予算額	1,600千円
目的	要介護状態となる恐れの高い高齢者等の住宅改修費の一部を補助することにより、生活機能の維持向上及び転倒事故防止を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>65歳以上の要介護状態となる恐れが高い虚弱な状態にある高齢者等で、市民税非課税世帯の方の住宅改修費用3分の2を補助した（上限160千円）。</p> <p>○補助対象工事</p> <p>① 手すりの取り付け ② 段差の解消 ③ 滑りの防止、移動の円滑化等のための床又は通路面の材料の変更 ④ 引き戸等への扉の取替え ⑤ 洋式便器等への便器の取替え ⑥ その他（①から⑤までの住宅改修に付帯して必要となる住宅改修）</p> <p>○事業実績</p> <p>事業実施件数 1件 補助対象工事 16千円 補助金額 11千円</p>				
主な財源	府補	介護予防安心住まい推進事業費補助金（10/10）			10千円
評価・課題等	<p>○要介護状態となる恐れの高い高齢者等の住宅改修費用の一部を補助することにより、生活機能の維持向上及び転倒事故防止が図られ、高齢者は自宅で生活を営むことを支援することができた。</p> <p>○府からの全額補助であるため、府の制度改正の動向を注視していく必要があるとともに、補助金が廃止となる場合には、事業廃止を含め、補助金の見直しについて検討する必要がある。</p>				
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課				

予算科目	04地域支援事業費	01介護予防事業費	01介護予防二次予防事業対象者施策事業費
事業名	01 二次予防事業対象者把握事業		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
1,848千円	1,883千円	35千円	98.1 % 2,883千円
目的	生活機能が低下し要支援・要介護状態になるおそれのある65歳以上の高齢者（二次予防事業対象者）を早期に把握し、効果的な介護予防サービスを講じる。		
主要な事務・事業及び成果の概要	二次予防事業対象者を早期に把握するため、65歳以上の介護保険被保険者のうち、要介護・要支援認定者を除いた第1号被保険者を対象に生活機能に関する状態の把握調査を次のとおり実施した。		
	基本チェックリスト実施者数	9,335人	二次予防事業対象者数 2,768人
	● 実施方法	基本チェックリストを郵送し、持参又は郵送により提出された基本チェックリストに基づき、把握調査を実施。	
	○ 消耗品費	137千円	
	○ 印刷製本費	283千円	
	○ 通信運搬費	1,428千円	
		・ 基本チェックリスト送付用封筒	
		・ 基本チェックリスト郵送代	
主な財源	国補	地域支援事業交付金（介護予防事業）	486千円
	府補	地域支援事業交付金（介護予防事業）	243千円
	支払基金交付金	支払基金交付金（介護予防事業）	530千円
	繰入金	一般会計繰入金（介護予防事業）	163千円
評価・課題等	○二次予防事業対象者を早期に把握し、通所型介護予防事業や訪問型事業につなげることができた。		
	○基本チェックリストの未提出者については、健康推進課と連携しながら対象者の把握に努めた。今後は、国の方針に従い、新たな介護予防事業（介護予防・日常生活支援総合事業）への移行に向け、対象者把握調査実施方法の見直しが必要である。		
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課		

予算科目	04地域支援事業費	01介護予防事業費	01介護予防二次予防事業対象者施策事業費
事業名	02 通所型介護予防事業		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
19,576千円	23,671千円	4,095千円	82.7 % 24,211千円
目的	通所による生活機能の向上や心身機能の改善のための介護予防プログラムを実施し、要介護状態等となることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化を防止する。		
主要な事務・事業及び成果の概要	要支援・要介護状態になるおそれのある65歳以上の高齢者（二次予防事業対象者）を対象に、直営・委託にて運動器の機能向上プログラム、運動・口腔・栄養改善プログラムを実施した。		
	実施内容（プログラム）	実施箇所数	実施回数 参加人数(実)
	運動器の機能向上プログラム	6か所	72回 52人
	運動・口腔・栄養改善型プログラム	2か所	12回 21人
	生きがい通所プログラム	5か所	延4,716 133人
	計	13か所	- 206人
	○ 臨時職員賃金	77千円	
	○ 報償費（運動講師謝金、歯科衛生士謝金）	96千円	
	○ 消耗品費	16千円	
	○ 燃料費（運動・栄養教室）	26千円	
	○ 通信運搬費（運動・栄養教室）	39千円	
	○ 傷害保険料（運動教室参加者保険料）	26千円	
	○ 委託料	19,296千円	
	・ 介護予防事業委託料（運動教室）	1,664千円	
	・ 健やか生きがい教室委託料	17,632千円	
	京丹後市社会福祉協議会（大宮支所）	（11,463千円）	
	京丹後市社会福祉協議会（久美浜支所）	（3,183千円）	
	社会福祉法人あしぎぬ福祉会	（2,046千円）	
	社会福祉法人丹後福祉会	（940千円）	
主な財源	国補	地域支援事業交付金（介護予防事業）	5,143千円
	府補	地域支援事業交付金（介護予防事業）	2,571千円
	支払基金交付金	支払基金交付金（介護要望事業）	5,609千円
	繰入金	一般会計繰入金（介護予防事業）	1,723千円
評価・課題等	○運動機能低下、低栄養、閉じこもり、認知機能低下、うつ傾向などの二次予防対象者に対して、各種介護予防プログラムを実施することにより、介護予防につなげることができた。		
	○平成28年度から開始予定の新たな介護予防事業（介護予防・日常生活支援総合事業）に向け、プログラムの見直しについて検討が必要である。		
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課		

予算科目	04地域支援事業費	01介護予防事業費	01介護予防二次予防事業対象者施策事業費		
事業名	03 訪問型介護予防事業				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
5,827千円	6,222千円	395千円	93.6%	6,222千円	
目的	生活機能の向上や心身機能の改善のための訪問指導を実施することにより、要介護状態となることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化を防止する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	二次予防事業対象者で閉じこもり、認知症やうつ等のおそれがある等、心身の状況等により通所形態による介護予防事業の参加が困難な方を対象に、看護師及び保健師が訪問指導を行った。				
	実施内容（プログラム）		実人数	延べ人数	
	訪問型介護予防事業		19人	193人	
	うつハイリスク訪問		204人	206人	
その他訪問（介護保険未利用者等）		88人	325人		
計		311人	724人		
○ 臨時職員賃金				5,208千円	
・ 臨時看護師		1人			1,903千円
・ 臨時保健師		2人			3,305千円
○ 共済費（社会保険料・雇用保険料）				619千円	
主な財源	国補	地域支援事業交付金（介護予防事業）	1,531千円		
	府補	地域支援事業交付金（介護予防事業）	765千円		
	支払基金交付金	支払基金交付金（介護予防事業）	1,669千円		
	繰入金	一般会計繰入金（介護予防事業）	513千円		
評価・課題等	○健やかチェック（高齢者に対する生活機能調査）の結果に基づき訪問し、相談対応や必要な指導を行うことで、介護予防意識が高められ地域の自発的活動への参加につながった。また、定期訪問により、二次予防事業対象者のうち、要介護状態になる可能性が高い方へのより細かい指導ができ、的確に介護サービスへの移行ができた。 ○平成28年度から開始予定の新たな介護予防事業（介護予防・日常生活支援総合事業）に向け、プログラムの見直しについて検討が必要である。				
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課				

予算科目	04地域支援事業費	02包括的支援事業・任意事業費	02任意事業費		
事業名	04 福祉用具・住宅改修支援事業				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
8千円	20千円	12千円	40.0%	20千円	
目的	住宅改修費の支給申請に係る「住宅改修理由書」を作成した居宅介護支援事業所等に対して、謝金を支払うことで、住宅改修事業を支援する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	居宅介護支援を受けていない要介護者等から依頼を受け、住宅改修費の支給に係る理由書を作成した介護支援専門員が所属する事業所に対して、理由書1件につき2千円の謝金を支払った。				
	○住宅改修理由書作成謝金（2千円×4件）				8千円
主な財源	国補	地域支援事業交付金（包括的支援事業・任意事業）	2千円		
	府補	地域支援事業交付金（包括的支援事業・任意事業）	1千円		
	繰入金	一般会計繰入金（包括的支援事業・任意事業）	2千円		
評価・課題等	謝金の支払いにより住宅改修費の支給申請をスムーズに行うことができ、要介護高齢者の身体状況・住宅環境に合った住宅改修の促進の一助となった。				
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課				

予算科目	04地域支援事業費	02包括的支援事業・任意事業費	02任意事業費
事業名	05 地域自立生活支援事業		
決算額	①	最終予算額	②
46,897千円		53,647千円	
不用額	(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
6,750千円		87.4%	55,647千円
目的	生活支援サービスを提供することで、高齢者及び障害者が住み慣れた地域社会の中で、引き続き自立した生活を継続していくことを支援し、高齢者等の福祉の向上を図る。		
主要な 事務・ 事業及 び成果 の概要	○ 食の自立支援サービス事業		
	食事の支度が困難なため日常生活に支障のあるひとり暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯、ひとり暮らしの重度障害者等に対し、定期的に栄養のバランスの取れた食事や、病態食、特別食などを配達するとともに、配達時に安否の確認を行った。		
	・ 提供食数(朝、昼、夕の計) (単位:食)		
	4月	5月	6月
	1,839	1,744	1,798
	7月	8月	9月
	1,934	1,872	1,856
	10月	11月	12月
	1,781	1,880	1,829
	1月	2月	3月
1,660	1,742	2,062	
計	21,997		
・ 配食サービス委託料(委託先:3業者) 32,736千円			
・ 網野栄養支援センター維持管理費ほか 6,606千円			
○ 安心生活見守り事業			
ひとり暮らしの高齢者、高齢者世帯及びこれに準ずる世帯並びに重度心身障害者等高齢者等のいる世帯へ緊急通報装置を貸与し、家庭内の事故等による通報・相談に24時間365日専門知識を有するオペレータが対応した。			
設置数(件)	峰山	大宮	網野
	丹後	弥栄	久美浜
	計		
新規設置数	7	3	10
	4	7	2
	33		
年度末設置数	95	50	138
	40	44	35
	402		
利用実績(回)	峰山	大宮	網野
	丹後	弥栄	久美浜
	計		
緊急通報回数	11	4	11
	8	4	2
	40		
うち救急車搬送	9	3	9
	6	4	2
	33		
相談・連絡回数	163	42	170
	53	47	59
	534		
・ 安心生活見守り事業委託料 7,555千円			
主な 財源	国補	地域支援事業交付金(包括的支援事業・任意事業)	12,801千円
	府補	地域支援事業交付金(包括的支援事業・任意事業)	6,400千円
	繰入金	一般会計繰入金(包括的支援事業・任意事業)	12,466千円
	諸収入	地域支援事業使用料(食の自立支援サービス利用料)	6,694千円
評価 ・ 課題等	○食の自立支援サービス事業については、定期的に栄養バランスのとれた食事等を配達することで、高齢者や障害者が住み慣れた地域の中で自立した生活の継続につながった。		
	○安心生活見守り事業については、独居高齢者等に対し緊急通報装置を貸与することで、緊急時の対応はもとより、日常生活における健康上の不安及び孤独感の解消が図れた。		
事業所管課	健康長寿福祉部/長寿福祉課		

予算科目	02サービス事業費	01居宅サービス事業費	01居宅サービス事業費	
事業名	01 網野通所介護事業(網野通所介護事業所一般経費を含む)			
決算額	①	最終予算額	②	
46,258千円		52,677千円		
不用額	(②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
6,419千円		87.8%	52,677千円	
目的	介護保険で要支援又は要介護に認定された高齢者に必要な介助や機能訓練等を行い、利用者の心身機能の維持・向上や社会的孤立感の解消、家族の介護負担の軽減を図る。			
主要な 事務・ 事業及 び成果 の概要	介護保険法に規定されている通所介護事業及び介護予防通所介護事業を京丹後市社会福祉協議会に委託して実施した。			
	○網野デイサービス事業委託料 38,811千円			
	網野通所介護事業所(網野デイサービスセンター)の運営事業の委託に係る事業費			
	【運営概要】			
	通所定員	30人		
	委託先	社会福祉法人京丹後市社会福祉協議会		
	※ 利用者は、網野デイサービスセンターに通所し、必要なサービス(介助や機能訓練等)の提供を受ける。			
	【事業の成果】			
	区分	サービス日数	年間延利用者数	前年比較
	要介護者	258日	4,174人	2.3%
要支援者	258日	1,204人	△18.8%	
合計		5,378人	△3.3%	
○一般管理経費 7,447千円				
事務用品、公用車燃料代、光熱水費(電気・水道・下水道)、備品修繕費、公用車維持管理費、電話代、通所介護事業システム保守料、設備保守点検料など				
主な 財源	サービス収入	介護保険給付費収入	38,094千円	
	サービス収入	自己負担金収入	7,656千円	
	諸収入	その他収入	508千円	
評価 ・ 課題等	○サービスを通じて、高齢者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることができた。			
	○介護保険の基盤施設であり、効率的かつ安定的な運営が確保できた。			
事業所管課	健康長寿福祉部/長寿福祉課			

予算科目	02サービス事業費	01居宅サービス事業費	01居宅サービス事業費		
事業名	02 弥栄通所介護事業（弥栄通所介護事業所一般経費を含む）				
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
38,192千円		44,212千円		6,020千円	
執行率		86.3%		(参考)当初予算額	44,212千円
目的	介護保険で要支援又は要介護に認定された高齢者に必要な介助や機能訓練等を行い、利用者の心身機能の維持・向上や社会的孤立感の解消、家族の介護負担の軽減を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	介護保険法に規定されている通所介護事業及び介護予防通所介護事業を社会福祉法人あしぎぬ福祉会に委託して実施した（平成26年11月末で事業所を廃止）。				
	○弥栄デイサービス事業委託料 35,926千円 弥栄通所介護事業所(弥栄サービスセンターふれあい)の運営事業の委託に係る事業費				
	【運営概要】				
	通所定員	25人			
	委託先	社会福祉法人あしぎぬ福祉会			
	※ 利用者は、弥栄デイサービスセンターふれあいに通所し、必要なサービス（介助や機能訓練等）の提供を受ける。				
	【事業の成果】				
	区分	サービス日数	年間延利用者数	前年比較	
	要介護者	209日	1,868人	△52.1%	
	要支援者	209日	465人	△41.0%	
特定施設入所者	209日	585人	△30.8%		
障害福祉サービス	44日	44人	—		
合計		2,962人	△46.4%		
○理学療法士派遣委託料 19千円 派遣回数8回（弥栄病院から派遣）					
○一般管理経費 2,247千円 光熱水費（ガス・電気・水道・下水道）、電話代、施設等修繕代、通所介護事業、システム保守料など					
主な財源	サービス収入 介護保険給付費収入	22,384千円			
	サービス収入 自己負担金収入	3,892千円			
	サービス収入 特定施設入居者委託料収入	5,136千円			
	サービス収入 障害福祉サービス事業費収入	470千円			
	諸収入 その他収入	84千円			
評価・課題等	サービスを通じて、高齢者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることができた。				
	事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課			

予算科目	02サービス事業費	02老人保健施設事業費	02老人保健施設介護サービス事業費																												
事業名	01 老人保健施設介護サービス事業（老人保健施設一般経費等を含む）																														
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)																										
554,770千円		567,116千円		12,346千円																											
執行率		97.8%		(参考)当初予算額	567,116千円																										
目的	介護を必要とする高齢者にリハビリを中心とした医療サービスと日常生活の介護サービスを提供することによって、家庭復帰の促進を図るとともに、在宅支援を行う。																														
主要な事務・事業及び成果の概要	やさか老人保健施設「ふくじゅ」において、入所者に対して看護や医療的管理下での介護・機能訓練等の医療と日常生活の世話をを行うとともに、通所リハビリテーションによる機能訓練・居宅介護支援事業を行った。																														
	○京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅ業務委託料 486,824千円 （やさか老人保健施設（ふくじゅ）の運営事業の委託に係る事業費）																														
	委託先：社会福祉法人京丹後市社会福祉協議会（事業開始：平成11年10月1日）																														
	【事業の成果】																														
	(1) 介護給付（要介護1～5の方を対象とする居宅サービス）																														
	・通所リハビリテーション（理学及び作業療法士によるリハビリテーション）																														
	・短期入所療養介護（短期入所での医療上のケア、入浴・食事等の介護、機能訓練等）																														
	・施設介護サービス（医療的管理下での介護、機能訓練等医療や日常生活上の介護）																														
	(2) 介護予防給付（要支援1及び2の方を対象とする居宅サービス）																														
	・介護予防通所リハビリテーション																														
・居宅介護支援事業																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>サービス日数</th> <th>年間延利用者数</th> <th>前年比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">介護給付</td> <td>通所リハビリテーション</td> <td>255日</td> <td>7,573人</td> <td>1.8%</td> </tr> <tr> <td>短期入所療養介護</td> <td>365日</td> <td>2,749人</td> <td>9.8%</td> </tr> <tr> <td>施設サービス</td> <td>365日</td> <td>31,658人</td> <td>△1.2%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">介護給付（予防）</td> <td>介護予防通所リハビリテーション</td> <td>255日</td> <td>1,816人</td> <td>37.2%</td> </tr> <tr> <td>居宅介護支援事業</td> <td>255日</td> <td>666人</td> <td>△11.0%</td> </tr> </tbody> </table>					区分		サービス日数	年間延利用者数	前年比較	介護給付	通所リハビリテーション	255日	7,573人	1.8%	短期入所療養介護	365日	2,749人	9.8%	施設サービス	365日	31,658人	△1.2%	介護給付（予防）	介護予防通所リハビリテーション	255日	1,816人	37.2%	居宅介護支援事業	255日	666人	△11.0%
区分		サービス日数	年間延利用者数	前年比較																											
介護給付	通所リハビリテーション	255日	7,573人	1.8%																											
	短期入所療養介護	365日	2,749人	9.8%																											
	施設サービス	365日	31,658人	△1.2%																											
介護給付（予防）	介護予防通所リハビリテーション	255日	1,816人	37.2%																											
	居宅介護支援事業	255日	666人	△11.0%																											
○一般管理経費（施設修繕、公用車維持管理、備品購入費等） 2,811千円																															
○施設整備市債償還元金 48,488千円																															
○施設整備市債償還利子 16,647千円																															
主な財源	サービス収入 介護保険給付費収入	434,667千円																													
	サービス収入 自己負担金収入	42,368千円																													
	サービス収入 日常生活費・居住費等	66,907千円																													
	サービス収入 その他収入	2,507千円																													
	評価・課題等	○入所者に対し、看護や医療的管理のもとで、介護・機能訓練等のサービスやケアを行うことで、入所者の在宅復帰を促進することができた。 ○通所リハビリテーションによる機能訓練・居宅介護支援により、住み慣れた地域の中における高齢者の自立した生活の継続に寄与することができた。																													
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課																														

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	02老人保護措置事業																																	
細事業名	01 老人保護措置事業			決算書	P.150																																
総合計画	基本方針 Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実																																	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)																																
140,358千円		155,443千円		15,085千円																																	
				執行率	(参考)当初予算額																																
				90.2%	155,443千円																																
目的	概ね65歳以上で、家族や住居の状況や経済的理由等により、居宅生活の継続が困難な方を養護老人ホームに入所措置し、生きがいのある健康で安らかな生活を確保する。																																				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>老人福祉法に基づき、在宅での生活が困難な高齢者を入所判定委員会の判定結果により養護老人ホームに入所措置し、対象者の心身の健康の保持及び生活の安定を図った。</p> <p>【実績】</p> <p>養護老人ホーム入所措置事務費 18千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 退所事務手続時の職員旅費 2千円 入所判定委員会委員報償金及び費用弁償 16千円 <p>報償費(4,000円×委員2人×2回)</p> <p>養護老人ホーム入所措置費 140,340千円</p> <p>○養護老人ホーム入所者数 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設名</th> <th rowspan="2">25年度末 入所者数</th> <th colspan="2">26年度中異動</th> <th rowspan="2">26年度末 入所者数</th> </tr> <tr> <th>入所</th> <th>退所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満寿園(京丹後市)</td> <td>53</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>成相山青嵐荘(宮津市)</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>三愛荘(福知山市)</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>長生園(南丹市)</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>66</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>67</td> </tr> </tbody> </table>					施設名	25年度末 入所者数	26年度中異動		26年度末 入所者数	入所	退所	満寿園(京丹後市)	53	9	7	55	成相山青嵐荘(宮津市)	9	0	0	9	三愛荘(福知山市)	3	0	1	2	長生園(南丹市)	1	0	0	1	合計	66	9	8	67
施設名	25年度末 入所者数	26年度中異動		26年度末 入所者数																																	
		入所	退所																																		
満寿園(京丹後市)	53	9	7	55																																	
成相山青嵐荘(宮津市)	9	0	0	9																																	
三愛荘(福知山市)	3	0	1	2																																	
長生園(南丹市)	1	0	0	1																																	
合計	66	9	8	67																																	
主な財源	負担金 老人福祉施設措置費負担金				30,927千円																																
評価・課題等	<p>○地域包括支援センター等との連携により、申請者の状況把握に努め、入所措置をすることにより居住生活の継続が困難な方の生活改善に寄与した。</p> <p>○今後は、高齢化に伴い入所希望者も増えることが予想されるが、適切な入所措置に努めるとともに、入所措置とならない方に対する支援としてさらに他施策と連携する必要がある。</p>																																				
事業所管課	健康長寿福祉部/長寿福祉課																																				

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	06生活管理指導事業	
細事業名	01 生活管理指導事業			決算書	P.150
総合計画	基本方針 Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
8千円		9千円		1千円	
				執行率	(参考)当初予算額
				88.8%	248千円
目的	生活習慣の欠如など社会生活の適応が困難な高齢者に対し、養護老人ホーム等で、短期間の宿泊を通じて日常生活の指導及び支援を行い、自立した生活の助長を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>要介護状態ではないが、社会生活の適応が困難な高齢者に対し、養護老人ホーム等において短期間の宿泊サービスを提供することにより、生活習慣の指導や体調調整を行い、在宅生活を営めるよう支援した。</p> <p>【実績】</p> <p>利用者数 1人</p> <p>利用日数 4日</p> <p>生活管理指導事業委託料 8千円(2,080円×4日)</p> <p>(事業委託先)</p> <p>社会福祉法人あしぎぬ福祉会(利用者数：0人)</p> <p>社会福祉法人丹後福祉会(利用者数：1人)</p>				
主な財源					
評価・課題等	さらなる高齢者社会の進展が予想される中、在宅生活を営めるよう支援を行うことで、社会生活の適応が困難な高齢者の自立した生活の助長を図ることができた。				
事業所管課	健康長寿福祉部/長寿福祉課				

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	17介護・福祉人材育成支援事業
細事業名	01 介護・福祉人材育成支援事業			決算書 P.154
総合計画	基本方針 Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
1,391千円	1,880千円	489千円	73.9%	2,934千円
目的	特別養護老人ホーム等の施設・事業所、居宅等において、適切に喀痰吸引等を行うことができる介護職員等を養成する研修を実施し、介護サービスの向上を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>介護施設等において、適切に喀痰吸引等を行うことができる介護職員を養成するため、喀痰吸引等を行う上で必要となる研修を実施した。</p> <p>※今まで市内でできなかった研修が、久美浜病院及び弥栄病院の協力のもと、府との連携により研修することが可能となった。</p> <p>○事業の概要 喀痰吸引研修委託料 1,391千円</p>			
主な財源				
評価・課題等	<p>○たんの吸引等の行為が専門研修受講者しか実施できなくなることから、本市が市内の介護施設等の職員を対象に、喀痰吸引等を行うことができるよう研修を実施した。喀痰吸引等ができる職員を養成することにより、介護サービスの向上が図れた。</p> <p>○今回の事業の実施にあたり、市と京都府が連携し、これまで府が年1回府北部を会場として実施していた研修（講義）について、京丹後市で実施する体制が構築された。これにより、京丹後市内での研修機会の確保につながった。</p>			
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課			

予算科目	04地域支援事業費	02包括的支援事業・任意事業費	01包括的支援事業費																		
事業名	01 地域包括支援センター事業																				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率																		
99,722千円	102,091千円	2,369千円	97.6%																		
			(参考)当初予算額 93,952千円																		
目的	地域住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行うセンターの運営を通じ、地域福祉の増進を包括的に支援する。																				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>旧町域ごとに設置されている地域包括支援センター及び分室を核とし、初期総合相談窓口（ランチ）として委託方式で設置されている民間の在宅介護支援センター5か所等各種関係機関との連携を強化することで、高齢者の総合相談や実態把握を行った。あわせて、予防事業へのケアマネジメントを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員人件費(給料、手当、共済費 12人) 95,260千円 地域包括支援センター業務委託料 3,000千円 地域包括支援センターシステム保守委託料 380千円 その他経費（旅費、消耗品等事務経費、公用車維持管理経費ほか） 1,082千円 <p>【地域包括支援センター及び分室での事業実施内容】</p> <p>○総合相談支援・権利擁護業務</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年間相談件数</th> <th>地域包括支援センター</th> <th>在宅介護支援センター</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護保険その他の保健福祉サービスに関すること</td> <td>2,327件</td> <td>613件</td> </tr> <tr> <td>権利擁護（成年後見制度等）に関すること</td> <td>34件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>高齢者虐待に関すること</td> <td>75件</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,436件</td> <td>617件</td> </tr> <tr> <td>実態把握</td> <td>76件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 在宅ケアスタッフ会議、ケアマネジャー会議等を通じ、医療、介護及び福祉の連携を図った。</p> <p>○介護予防ケアマネジメント業務 二次予防事業対象者のケアマネジメントを行った（210件）</p>			年間相談件数	地域包括支援センター	在宅介護支援センター	介護保険その他の保健福祉サービスに関すること	2,327件	613件	権利擁護（成年後見制度等）に関すること	34件	1件	高齢者虐待に関すること	75件	3件	計	2,436件	617件	実態把握	76件	
年間相談件数	地域包括支援センター	在宅介護支援センター																			
介護保険その他の保健福祉サービスに関すること	2,327件	613件																			
権利擁護（成年後見制度等）に関すること	34件	1件																			
高齢者虐待に関すること	75件	3件																			
計	2,436件	617件																			
実態把握	76件																				
主な財源	国補 地域支援事業交付金（包括的支援事業・任意事業）	27,219千円																			
	府補 地域支援事業交付金（包括的支援事業・任意事業）	13,610千円																			
	繰入金 一般会計繰入金（包括的支援事業・任意事業）	26,508千円																			
評価・課題等	<p>○各地域で開催されている民生児童委員会議に参加し、民生児童委員との情報・意見交換を行うことで、地域の現状や課題について把握・検討を行った。また、ランチとの連携を図る目的で「つなぐシート」を活用し、総合相談窓口としての機能充実に図れた。</p> <p>○包括的・継続的ケアマネジメント支援業務では、ネットワーク会議を通じ市内事業所とのきめ細かい連携をとったことにより、要介護者等の在宅生活の支援を図ることができた。</p>																				
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課																				

予算科目	04地域支援事業費	02包括的支援事業・任意事業費	02任意事業費				
事業名	02 家族介護支援事業						
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額				
5,958千円	6,796千円	838千円	87.6 % 8,996千円				
目的	在宅でおおむね65歳以上の高齢者を介護している家族の身体的、精神的及び経済的負担の軽減並びに心身の回復を支援し、在宅福祉の向上を図る。						
主要な事務・事業及び成果の概要	市の認知症対策として地域、介護保険事業所等と連携し、認知症高齢者見守り事業（認知症サポーター養成講座、徘徊搜索模擬訓練、交流会等）を実施した。 また、介護による家族の精神的・肉体的・経済的な負担軽減を図るため、家族介護教室事業、家族介護交流事業、介護用品支給事業及び家族介護慰労金事業を実施した。						
	○ 認知症高齢者見守り事業	241千円					
	・ 認知症サポーター養成講座	928人受講（25講座）					
	○ 家族介護教室事業（介護技術・認知症）	219千円					
	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	計
介護技術	3人	2人	2人	0人	2人	21人	30人
認知症	15人	7人	5人	4人	4人	2人	37人
合計	18人	9人	7人	4人	6人	23人	67人
○ 家族介護交流事業	326千円						
・ 市全体実施分							
	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	計
	6人	6人	10人	2人	4人	2人	30人
・ 町ごとの実施分							
		合同実施		合同実施			計
		峰山	大宮	久美浜	網野	丹後	弥栄
参加人数	5人	2人	1人	4人	5人	2人	19人
○ 介護用品支給事業	5,172千円						
・ 支給対象者数	130人						
主な財源	国補	地域支援事業交付金（包括的支援事業・任意事業）	1,626千円				
	府補	地域支援事業交付金（包括的支援事業・任意事業）	813千円				
	繰入金	一般会計繰入金（包括的支援事業・任意事業）	1,584千円				
評価・課題等	○介護保険事業所と共に認知症施策に取り組み、高齢者を見守る地域づくりを推進した。また、中学生にサポーター養成講座を実施し、若い世代へ認知症の正しい知識を普及することができた。 ○介護者の精神的な負担軽減が図れる家族教室や交流会は、参加者が固定・減少していく傾向にあるため、各事業所の家族会と連携しながら事業を進め、介護者が参加しやすい教室の実施に努めていく必要がある。						
	事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課					

予算科目	04地域支援事業費	02包括的支援事業・任意事業費	02任意事業費
事業名	03 成年後見制度利用支援事業		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
251千円	922千円	671千円	27.2 % 922千円
目的	認知症等の理由で判断能力が低下し、成年後見制度の利用が必要な方への申立て支援や助成を行い、高齢者の権利・財産を保全する。		
主要な事務・事業及び成果の概要	成年後見制度の利用が必要な状況であるにもかかわらず、申立てを行う親族がいない等の理由で制度の利用ができない方を対象に、市長による申立てを行い、また、低所得者で費用負担ができない場合は、申立費用や後見人報酬の助成を行った。 高齢者の支援に関わっている関係者（家族、親戚、民生委員、介護支援専門員、社会福祉協議会など）からの相談に対して、制度の紹介や申立ての支援（成年後見制度審判請求支援）を行った。		
	○ 相談件数：29件（実人数：16人）		
	○ 成年後見制度審判請求支援：9件（市長申立てを含む）		
	○ 市長申立て件数：4件（後見類型3件、保佐類型1件）		
	・ 申立てに係る郵券料	8千円	
	・ 申立てに係る登記手数料等	14千円	
	・ 成年後見用診断書作成手数料	8千円	
	合計	30千円	
	（※上記30千円のうち、18,990円は本人から求償）		
	・ 成年後見人等報酬助成金（2件）	221千円	
主な財源	国補	地域支援事業交付金（包括的支援事業・任意事業）	69千円
	府補	地域支援事業交付金（包括的支援事業・任意事業）	34千円
	繰入金	一般会計繰入金（包括的支援事業・任意事業）	67千円
	諸収入	成年後見等開始審判請求費用	19千円
評価・課題等	○制度の啓発や申立ての支援・助成を行うことで、成年後見制度の活用につなげることができ、高齢者の権利・財産の保全が図られた。 ○身寄りのない高齢者や身寄りがあっても家族と全く疎遠となっている高齢者が増加していることから、市長申立ての検討を要するケースの増加が見込まれる。スムーズな制度利用につながるよう、関係機関と連携を図りながら、後見人の受け手の確保や制度利用の促進体制の整備などにも取り組む必要がある。		
	事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課	

予算科目	04地域支援事業費	02包括的支援事業・任意事業費	02任意事業費
事業名	08 地域包括ケア推進事業		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
2,796千円	3,112千円	316千円	89.8 % 3,112千円
目的	高齢者とその家族が、最期まで住み慣れた地域で安心して暮らせるよう連携体制構築を促進する。認知症の人や家族が住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援する。		
主要な事務・事業及び成果の概要	○多職種連携による終末期支援事業 多機関・多職種それぞれ互いの役割等を理解した上で連携する支援体制関係促進するため、終末期（看取り期）にある高齢者とその家族を支援する医療・介護・福祉の多職種の関係者が、現状と課題について意見交換を行った。		
	会議名等	開催日時	開催場所
	在宅療養コーディネーター連絡会議	平成26年9月26日	京丹後市福祉事務所
	多職種の代表者による会議	平成26年11月27日	京丹後市役所
	多職種連携による終末期支援研修会	平成27年2月15日	プラザホテル吉翠苑
	・報償金（在宅療養コーディネーター、多職種の代表者）	432千円	
	・旅費	12千円	
	・需用費	12千円	
	○認知症高齢者支援事業（初期認知症対応型カフェ）		
	初期の認知症の方（又は疑いのある方）とその家族を対象に、居場所づくり、生きがいづくりの場を提供するとともに、認知症について理解し、適切な対応ができるよう支援するため、初期認知症とその家族が集う場を設置・運営した。		
・認知症高齢者支援事業委託料	2,340千円		
運営場所	運営委託先		
養護老人ホーム満寿園	社会福祉法人あしぎぬ福祉会		
特別養護老人ホーム久美浜苑くまのの里	社会福祉法人北丹後福祉会		
小規模多機能型居宅介護 ふれあいホーム桃山	社会福祉法人丹後福祉会		
主な財源	府補 地域包括ケア総合交付金（10/10）		2,796千円
評価・課題等	○終末期支援には、地域事情による課題、機関ごと・職種ごとによる課題等があるが、互いの現状を理解することで、より良い支援体制に必要な頼り補いあう関係づくりに効果があった。しかし、医療関係者の参加が少ないため、今後、参加を促す必要がある。 ○介護保険サービスにつながりにくい、認知症の初期の方に利用していただき、支援することができた。身近なところで利用できるよう生活圏域ごとに設置していくことについて、検討していく必要がある。		
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課		

予算科目	02サービス事業費	03介護予防支援事業費	03介護予防支援事業費
事業名	01 介護予防支援事業		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
21,198千円	23,260千円	2,062千円	91.1 % 23,260千円
目的	要支援1又は2と判定された方に対して、要介護状態への移行予防の観点から、介護予防ケアマネジメントを行う。		
主要な事務・事業及び成果の概要	要支援者の心身の状況や置かれた環境、本人・家族等の希望を踏まえ、自立支援に基づき、医療・福祉サービス等が適切に利用できるよう介護予防ケアマネジメント（介護予防支援計画の作成）を行った。また、業務の一部を居宅介護支援事業所に委託し、その計画に基づいたサービスの提供が確保されるよう事業所等の連絡調整を行った。		
	○ 臨時職員賃金、共済費（社会保険料及び雇用保険料）	8,772千円	
	・保健師（2人）、社会福祉士（1人）、介護支援専門員（1人） 看護師（1人）		
	○ 旅費（介護支援専門員更新研修）	52千円	
	○ 需用費（消耗品費、燃料費等）	172千円	
	○ 役務費	1,403千円	
	・自動車損害保険料・介護支援専門員登録料	20千円	
	・ADSL回線等使用料	1,383千円	
	○ 委託料	10,512千円	
	・介護事業システム（地域包括センターシステム）保守料	1,116千円	
・介護予防支援業務委託料	9,396千円		
○ 自動車借上料	194千円		
○ 備品購入費・介護支援専門員研修参加負担金	93千円		
【事業の成果】 （予防給付支援計画作成件数）※延べ件数／年 （単位：件）			
	H26	H25	前年比較
市直営	3,956	3,531	12.0%
委託	2,209	1,921	15.0%
計	6,165	5,452	13.1%
主な財源	サービス収入 介護予防サービス計画費収入		21,198千円
評価・課題等	○適切な介護予防ケアマネジメントにより、要支援者が住み慣れた地域で、安心・安全に暮らすことができる介護予防サービスにつなげることができた。 ○平成28年度から開始予定の新たな介護予防事業（介護予防・日常生活支援総合事業）では、新しい介護予防ケアマネジメントに変更されるため、スムーズに移行できるよう検討を進めていく必要がある。		
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課		

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	03老人クラブ 活性化支援事業																					
細事業名	01 老人クラブ 活性化支援事業			決算書	P.150																				
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実																					
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)																				
8,347千円		9,288千円		941千円	89.8%																				
					(参考)当初予算額 9,288千円																				
目的	老人クラブの活動に対して補助を行うことにより、老人クラブの育成、高齢者の生きがいづくり及び健康づくりを図り、健康長寿のまちづくりを推進する。																								
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>老人クラブの運営に係る経費、老人クラブが行う友愛訪問活動事業、健康づくり事業、広報・加入促進事業等に対し、補助金を交付した。</p> <p>【実績】</p> <table border="0"> <tr> <td>単位老人クラブ(100クラブ、2,553人)の活動に対する補助</td> <td>4,656千円</td> </tr> <tr> <td>市老人クラブ連合会の活動に対する補助</td> <td>378千円</td> </tr> <tr> <td>友愛訪問活動事業に対する補助</td> <td>74千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">※10月と3月の2回、管内の介護施設4ヶ所を訪問し、手作りの祝賀袋等をプレゼントした。</td> </tr> <tr> <td>各種スポーツ大会、健康づくり事業への補助</td> <td>715千円</td> </tr> <tr> <td>市老人クラブ連合会の発行する広報誌に対する補助(年2回発行)</td> <td>525千円</td> </tr> <tr> <td>市老人クラブ連合会事務局員設置(2人)に対する補助</td> <td>1,500千円</td> </tr> <tr> <td>府老人クラブ連合会への研修会参加に対する補助</td> <td>268千円</td> </tr> <tr> <td>会員拡大・加入促進事業に対する補助</td> <td>150千円</td> </tr> <tr> <td>世代間交流事業に対する補助</td> <td>81千円</td> </tr> </table>					単位老人クラブ(100クラブ、2,553人)の活動に対する補助	4,656千円	市老人クラブ連合会の活動に対する補助	378千円	友愛訪問活動事業に対する補助	74千円	※10月と3月の2回、管内の介護施設4ヶ所を訪問し、手作りの祝賀袋等をプレゼントした。		各種スポーツ大会、健康づくり事業への補助	715千円	市老人クラブ連合会の発行する広報誌に対する補助(年2回発行)	525千円	市老人クラブ連合会事務局員設置(2人)に対する補助	1,500千円	府老人クラブ連合会への研修会参加に対する補助	268千円	会員拡大・加入促進事業に対する補助	150千円	世代間交流事業に対する補助	81千円
単位老人クラブ(100クラブ、2,553人)の活動に対する補助	4,656千円																								
市老人クラブ連合会の活動に対する補助	378千円																								
友愛訪問活動事業に対する補助	74千円																								
※10月と3月の2回、管内の介護施設4ヶ所を訪問し、手作りの祝賀袋等をプレゼントした。																									
各種スポーツ大会、健康づくり事業への補助	715千円																								
市老人クラブ連合会の発行する広報誌に対する補助(年2回発行)	525千円																								
市老人クラブ連合会事務局員設置(2人)に対する補助	1,500千円																								
府老人クラブ連合会への研修会参加に対する補助	268千円																								
会員拡大・加入促進事業に対する補助	150千円																								
世代間交流事業に対する補助	81千円																								
主な財源	府補	老人クラブ 助成事業費補助金(2/3)	4,385千円																						
	繰入金	ふるさと応援基金繰入金	2,300千円																						
評価・課題等	<p>○老人クラブが行う健康づくり事業、社会奉仕事業等を支援することで事業を円滑に実施することができ、健康保持及び社会貢献に大きく寄与した。</p> <p>○会員数は年々減少傾向にあることから、老人クラブの組織の充実強化について支援、協議等を行い、単位クラブが減少しないよう努める。</p> <p>○今後も会員拡大、加入促進をするための活性化施策を進める必要がある。</p>																								
事業所管課	健康長寿福祉部/長寿福祉課																								

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	11網野高齢者すこやかセンター施設管理事業													
細事業名	01 網野高齢者すこやかセンター施設管理事業			決算書	P.152												
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実													
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)												
8,662千円		9,125千円		463千円	94.9%												
					(参考)当初予算額 9,125千円												
目的	サークル活動などの会場及び入浴施設を提供し、高齢者の生きがいや健康づくりを推進する。																
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>在宅の高齢者に対して入浴やレクリエーションの場を提供し、高齢者福祉の推進を図ることを目的として設置された網野高齢者すこやかセンターの維持管理・運営を行った。</p> <p>○事業の内容</p> <p>施設の維持管理 (施設管理経費内訳)</p> <table border="0"> <tr> <td>需用費</td> <td>4,987千円</td> <td>(消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料)</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>166千円</td> <td>(通信運搬費、火災保険料)</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>3,384千円</td> <td>(運営管理委託、消防設備保守点検等)</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>125千円</td> <td>(清掃用具借上料、コピー機借上料)</td> </tr> </table> <p>年間施設利用者数</p> <p>入浴利用者数 17,465人</p> <p>研修室等利用者数(件数) 684人(77件)</p>					需用費	4,987千円	(消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料)	役務費	166千円	(通信運搬費、火災保険料)	委託料	3,384千円	(運営管理委託、消防設備保守点検等)	使用料及び賃借料	125千円	(清掃用具借上料、コピー機借上料)
需用費	4,987千円	(消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料)															
役務費	166千円	(通信運搬費、火災保険料)															
委託料	3,384千円	(運営管理委託、消防設備保守点検等)															
使用料及び賃借料	125千円	(清掃用具借上料、コピー機借上料)															
主な財源	使用料	網野高齢者すこやかセンター使用料	3,541千円														
評価・課題等	<p>○入浴やレクリエーションの場を提供することで、高齢者福祉の推進に貢献している。</p> <p>○施設本来の目的である高齢者の生きがい、介護予防、社会活動の推進に資する利活用を進めることで、高齢者福祉の増進を図るとともに、それによる利用者の増加による収入増加を図るなど、より一層の効果的・効率的な運営に努めていく必要がある。</p>																
事業所管課	健康長寿福祉部/長寿福祉課																

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	14福祉施設等指定管理運営事業
細事業名	01 指定管理施設運営事業			決算書 P.152
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
11,007千円		11,007千円		0千円
				執行率 (参考) 当初予算額
				100.0% 11,357千円
目的	指定管理者の創意工夫に基づいた高齢者拠点施設を管理運営することにより利用者に質の高い多様なサービスを提供し、もって高齢者福祉の増進を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>高齢者福祉に関する施設のうち、指定管理者制度を導入している施設の運営管理を円滑に行うための経費を支出した。</p> <p>○指定管理委託料 10,802千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・網野社会参加交流ハウス 1,579千円 (延べ利用者数：8,466人) ・丹後老人福祉センター松風苑 7,814千円 (延べ利用者数：4,317人) ・弥栄生きがい交流センター 1,409千円 (延べ利用者数：1,365人) <p>○建物火災保険料 125千円</p> <p>○土地借上料（浜詰ふれあいセンター用地賃借料） 1,565㎡ 80千円</p>			
主な財源				
評価・課題等	<p>○高齢者拠点施設として、地域の高齢者福祉事業に活用されるなど、高齢者福祉の増進が図れた。</p> <p>○地域の高齢者のために有効な施設であるが、市の公共施設見直し計画に基づき、民間などへの移譲を含めて協議・検討を進めていく必要がある。</p>			
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課			

予算科目	05労働費	01労働諸費	01労働諸費	01シルバー人材センター運営助成事業																		
細事業名	01 シルバー人材センター運営助成事業			決算書 P.218																		
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実																		
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)																		
23,100千円		23,100千円		0千円																		
				執行率 (参考) 当初予算額																		
				100.0% 23,100千円																		
目的	高齢者が長年にわたり培ってきた知識や技能を活かした就業機会の提供と、ボランティア活動を始めとする社会参加を通じ、健康で生きがいのある生活と福祉の向上を目指す。																					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>定年退職者等に、地域に密着した仕事を提供し、もって高齢者の生きがいの充実や社会参加の促進を図るシルバー人材センター事業を助成することにより、高齢者福祉の推進を図った。</p> <p>【事業概要】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成26年度末</th> <th>平成25年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常勤職員</td> <td>9人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>会員数</td> <td>776人</td> <td>787人</td> </tr> <tr> <td>就業延べ人員</td> <td>79,278人</td> <td>71,602人</td> </tr> <tr> <td>受注件数</td> <td>5,644件</td> <td>5,581件</td> </tr> <tr> <td>契約金額</td> <td>315,275千円</td> <td>290,681千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○全国シルバー人材センター協会賛助会員会費 50千円</p> <p>○京都府シルバー人材センター連合会賛助会員会費 50千円</p> <p>○企画提案方式事業補助金「ひと・土・花」ふれあい事業 2,000千円</p> <p>(1) アンテナショップ事業 延べ就業人員 2,440人</p> <p>(2) ふれあい農園野菜・花作り事業 延べ就業人員 258人</p> <p>(3) 高齢者生きがいと健康づくり事業（介護講習、料理講習、健康づくり講習他） 延べ参加人員 344人</p> <p>○シルバー人材センター運営費補助金 21,000千円</p>					平成26年度末	平成25年度末	常勤職員	9人	9人	会員数	776人	787人	就業延べ人員	79,278人	71,602人	受注件数	5,644件	5,581件	契約金額	315,275千円	290,681千円
	平成26年度末	平成25年度末																				
常勤職員	9人	9人																				
会員数	776人	787人																				
就業延べ人員	79,278人	71,602人																				
受注件数	5,644件	5,581件																				
契約金額	315,275千円	290,681千円																				
主な財源																						
評価・課題等	<p>高齢者の就業機会の確保に加え、高齢者が長年培ってきた知識や経験、技術等が地域社会に生かされるとともに、高齢者本人の生きがいづくりや社会参加の機会確保につながった。</p>																					
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課																					

予算科目	04地域支援事業費	01介護予防事業費	02介護予防一般高齢者施策事業費														
事業名	01 介護予防普及啓発事業																
決算額	①	最終予算額	②														
1,230千円		1,656千円															
不用額	(②-①)	426千円															
執行率		74.2%															
(参考)当初予算額		1,656千円															
目的	介護予防講演会の開催や高齢者が集う場所等での介護予防のための情報提供等を行い、介護予防知識の普及・啓発を図る。																
主要な 事業及び 成果の 概要	<p>65歳以上の高齢者等に対し、運動機能低下を予防するための実践教室、低栄養予防のための講習会、その他介護予防のための講座を開催し、介護予防知識の普及・啓発を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施内容</th> <th>実施回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護予防教室等</td> <td>いきいき運動教室、出前講座、リハビリ教室</td> <td>472回</td> <td>1,913人</td> </tr> <tr> <td>相談会や講演会</td> <td>サロン、老人クラブへの健康相談・講演</td> <td>49回</td> <td>431人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>521回</td> <td>2,344人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○ 臨時職員賃金 52千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 臨時職員（1人）・臨時看護師（1人） ○ 旅費 9千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 普通旅費 ○ 報償費 195千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 講師謝金（いきいき運動倶楽部、高齢者サロン健康相談） ○ 需用費 297千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ パンフレット、事務用品、公用車燃料代、車検費用等 ○ 役務費 87千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 郵送料（事業案内等） 43千円 ・ 自動車登録手数料、自動車損害共済保険料、自動車損害保険料（介護予防や研修会等参加者傷害保険料） 44千円 ○ 委託料 583千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ いきいき運動倶楽部委託料 575千円 ・ 送迎車運転委託料（高齢者サロン健康相談） 8千円 ○ 使用料及び賃借料（会場使用料他） 7千円 			実施内容	実施回数	参加人数	介護予防教室等	いきいき運動教室、出前講座、リハビリ教室	472回	1,913人	相談会や講演会	サロン、老人クラブへの健康相談・講演	49回	431人	計	521回	2,344人
実施内容	実施回数	参加人数															
介護予防教室等	いきいき運動教室、出前講座、リハビリ教室	472回	1,913人														
相談会や講演会	サロン、老人クラブへの健康相談・講演	49回	431人														
計	521回	2,344人															
主な 財源	国補	地域支援事業交付金（介護予防事業）	323千円														
	府補	地域支援事業交付金（介護予防事業）	162千円														
	支払基金交付金	支払基金交付金（介護予防事業）	352千円														
	繰入金	一般会計繰入金（介護予防事業）	108千円														
評価・ 課題等	高齢者にとって身近で参加しやすい地域で開催されている高齢者サロンや老人会での健康教室を実施することで、介護予防の普及啓発実施に役立った。また、地域からの要望に応じる形で、ニーズに合った健康教室を行うことができた。																
事業所 管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課																

予算科目	04地域支援事業費	01介護予防事業費	02介護予防一般高齢者施策事業費						
事業名	02 地域介護予防活動支援事業								
決算額	①	最終予算額	②						
130千円		400千円							
不用額	(②-①)	270千円							
執行率		32.5%							
(参考)当初予算額		400千円							
目的	介護予防に関わるボランティア等の人材や地域活動組織の育成・支援等を実施し、地域における介護予防活動を促進する。								
主要な 事業及び 成果の 概要	<p>○ 高齢者自身がボランティア活動を行うことで自身の介護予防につながる事業 高齢者が行う介護支援ボランティア活動を通して地域貢献をすることで、高齢者自身の社会参加活動を通じた介護予防につながる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施事業</th> <th>サポーター受入機関登録施設数</th> <th>サポーター活動人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護支援見守りサポーター活動事業</td> <td>33施設</td> <td>19人</td> </tr> </tbody> </table> <p>介護支援ボランティア事業委託料 130千円 (受託者：京丹後市社会福祉協議会)</p>			実施事業	サポーター受入機関登録施設数	サポーター活動人数	介護支援見守りサポーター活動事業	33施設	19人
実施事業	サポーター受入機関登録施設数	サポーター活動人数							
介護支援見守りサポーター活動事業	33施設	19人							
主な 財源	国補	地域支援事業交付金（介護予防事業）	34千円						
	府補	地域支援事業交付金（介護予防事業）	17千円						
	支払基金交付金	支払基金交付金（介護予防事業）	37千円						
	繰入金	一般会計繰入金（介護予防事業）	11千円						
評価・ 課題等	<p>○高齢者がボランティア活動を行うことで、自身の介護予防につながった。 ○サポーター活動者数が減少傾向にあり、新規登録者を増やす必要がある。また、平成28年度から開始予定の新たな介護予防事業（介護予防・日常生活支援総合事業）に向け、活動範囲の拡大（受入機関登録施設の拡大や地域での活動）に向けた検討も必要である。</p>								
事業所 管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課								

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	01 敬老祝い事業	
細事業名	01 敬老祝い事業			決算書	P.150
総合計画	基本方針 Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
25,692千円		25,753千円		61千円	99.7%
					(参考)当初予算額 27,421千円

目的 敬老会事業に対して補助金を交付するとともに、喜寿・100歳以上の各対象者に対し祝い品を贈呈し、高齢者の長寿を祝い、長年にわたる社会貢献に感謝の意を表する。

主要な業務・事業及び成果の概要 高齢者の長寿をお祝いし、今後ますます元気で健康に暮らしていただくことを祈念するため、地区主催での敬老会実施を支援した。また、喜寿・100歳以上の方へ祝い品を贈呈した。

■敬老会の主な内容

- 式典：記念品の贈呈、敬老の言葉、祝電披露
- 余興：演芸、合唱、踊りほか

(単位：人・%)

敬老会						祝い品贈呈者数	
町別	主催	対象者数 (75歳以上)	参加者数	参加率 (%)		100歳以上	喜寿
				参加率	前年度		
峰山	地区等	2,174	949	43.7	45.2	12	143
大宮	地区等	1,588	607	38.2	40.4	7	116
網野	地区等	2,661	948	35.6	35.7	32	189
丹後	地区等	1,307	631	48.3	45.1	9	73
弥栄	地区等	1,105	597	54.0	52.2	10	60
久美浜	地区等	2,278	841	36.9	35.9	27	99
合計		11,113	4,573	41.2	41.0	97	680

- 敬老会補助金（地区等開催） 24,619千円
敬老会の補助金対象年齢は、75歳以上（補助金2,250円/人）
- 喜寿、100歳以上の方への祝い品・筆耕料 1,073千円

主な財源 繰入金 地域振興基金繰入金 15,000千円

評価・課題等 長寿を祝い、長年にわたる社会貢献に感謝の意を表することができた。

事業所管課 健康長寿福祉部/長寿福祉課

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	02保健対策費	02健康長寿のまちづくり推進事業	
細事業名	01 健康長寿のまちづくり推進事業			決算書	P.182
総合計画	基本方針 Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
2,626千円		2,681千円		55千円	97.9%
					(参考)当初予算額 3,637千円

目的 フォーラムなどの実施により、老いや長寿の中にこそある喜びや宝をもっと発見し、長寿をますます喜び、感謝することができる機運・環境づくりを推進する。

主要な業務・事業及び成果の概要 ◎第7回健康大長寿のさとづくりフォーラム 1,286千円
開催日：平成26年11月8日(土)午前10時から午後3時45分
会場：京都府丹後文化会館大ホール
来場者数：470人
テーマ：いつまでも生涯現役で！長生きしたくなるまち 京丹後
○報償費（基調講演講師、出演者） 520千円
○印刷製本費（ポスター、プログラム） 239千円
○会場借上料（丹後文化会館 準備、本番の2日間） 289千円
○その他の経費（費用弁償・消耗品費・講師昼食代等） 238千円

◎百歳健康長寿の秘けつ集作成 1,208千円
100歳を過ぎてても元気に暮らせる秘けつを全国から公募し、食事、運動・習慣、生きがい・心をテーマにまとめ販売
○報償費（選考委員謝金、受賞者記念品） 332千円
○印刷製本費（百歳健康長寿の秘けつ集作成） 687千円
○役務費（公募広告料、表彰状原筆耕） 170千円
○その他の経費（原稿依頼旅費等） 19千円

◎その他 132千円
○消耗品費等（用紙代等） 132千円

主な財源 府補 地域包括ケア総合交付金 2,317千円
繰入金 ふるさと応援基金繰入金 200千円

評価・課題等 ○フォーラムでは、アンチエイジングをテーマにした基調講演と秘訣集テーマに合わせたシンポジウムを行うことで、健康長寿と生き方の秘訣について理解を深めることができた。また、「百歳健康長寿の秘けつ集」の完成披露により、『健康長寿のまち京丹後市』をPRできた。
○健康長寿の秘けつを全国に発信することで、健康長寿のまちをアピールし、長寿社会の推進に寄与することができた。

事業所管課 健康長寿福祉部/長寿福祉課

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	15高齢者安心生活支援事業
細事業名	01 高齢者安心生活支援事業			決算書 P.152
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
852千円		858千円		6千円
			執行率	(参考) 当初予算額
			99.3%	858千円

目的	市域中心部から離れ、交通の利便も悪く、医療機関からも遠いなどの地域の高齢者に、保健師による訪問指導を行い、心身機能の低下の防止と健康の保持増進を図る。																																				
主要な 業務・ 事業及 び成果 の概要	<p>○訪問対象者</p> <p>(1) 過疎、辺地等の92地区の65歳以上高齢者のうち、すこやかチェックリスト未把握者で、介護保険サービス等の利用者を除いた方</p> <p>(2) 上記対象者のうち平成20年度から実施してきた訪問で把握した方は除く</p> <p>(3) 過去の訪問から継続支援が必要となった方</p> <p>○訪問実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">訪問人数</th> <th colspan="3">訪問結果</th> </tr> <tr> <th>実人数</th> <th>延人数</th> <th>問題なし</th> <th>保健師再訪問</th> <th>介護保険利用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規対象者</td> <td>245人</td> <td>248人</td> <td>224人</td> <td>14人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>継続者</td> <td>26人</td> <td>54人</td> <td>0人</td> <td>26人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>271人</td> <td>302人</td> <td>224人</td> <td>40人</td> <td>7人</td> </tr> </tbody> </table> <p>271人(延べ302人)を訪問した。224人(82.7%)は問題なく生活されており、47人は経過支援として、保健師の再訪問や介護保険利用につながった。</p> <p>○訪問内容</p> <p>保健師が訪問し、血圧測定、問診にて健康状態の把握、健康管理指導を行い、必要に応じて、関係機関につなぐなどの連携を図った。</p> <p>○事業費</p> <table border="1"> <tr> <td>臨時保健師賃金(1人)</td> <td>851千円</td> </tr> <tr> <td>需用費(消耗品)</td> <td>1千円</td> </tr> </table>					訪問人数		訪問結果			実人数	延人数	問題なし	保健師再訪問	介護保険利用	新規対象者	245人	248人	224人	14人	7人	継続者	26人	54人	0人	26人	0人	合計	271人	302人	224人	40人	7人	臨時保健師賃金(1人)	851千円	需用費(消耗品)	1千円
		訪問人数		訪問結果																																	
実人数		延人数	問題なし	保健師再訪問	介護保険利用																																
新規対象者	245人	248人	224人	14人	7人																																
継続者	26人	54人	0人	26人	0人																																
合計	271人	302人	224人	40人	7人																																
臨時保健師賃金(1人)	851千円																																				
需用費(消耗品)	1千円																																				
主な財源	府補	未来づくり交付金(高齢者安心生活支援事業)	400千円																																		
	繰入金	ふるさと応援基金繰入金	400千円																																		
評価・課題等	<p>○保健師が対象地区を訪問し、対象者の健康状態の把握や健康管理指導を行うことにより、高齢者が健康で自立した生活を送るための支援ができた。</p> <p>○平成26年度は65~70歳を訪問対象としたところ9割は自立した生活を送られていた。今後は要介護認定率が急増する後期高齢者を対象とし、保健福祉医療に関する相談等に対応し、健康の保持増進、異常の早期発見、介護状態の予防を図る必要がある。</p>																																				
事業所管課	健康長寿福祉部/健康推進課																																				

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	50高齢者福祉一般経費
細事業名	01 高齢者福祉一般経費			決算書 P.154
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
549千円		589千円		40千円
			執行率	(参考) 当初予算額
			93.2%	589千円

目的	高齢者福祉施設の維持管理及び事務事業を円滑に実施する。															
主要な 業務・ 事業及 び成果 の概要	<p>○旅費(事務担当者会議等)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>35千円</td> </tr> </table> <p>○需用費</p> <table border="1"> <tr> <td>事務用品等</td> <td>26千円</td> </tr> <tr> <td>光熱水費(網野コミュニティ広場水道料)</td> <td>12千円</td> </tr> </table> <p>○使用料及び賃借料</p> <table border="1"> <tr> <td>有料道路通行料(セミナー・成果発表会等出席)</td> <td>13千円</td> </tr> <tr> <td>駐車場使用料</td> <td>3千円</td> </tr> <tr> <td>土地借上料(グループホーム「かえて」用地賃借料)</td> <td>460千円</td> </tr> </table>					35千円	事務用品等	26千円	光熱水費(網野コミュニティ広場水道料)	12千円	有料道路通行料(セミナー・成果発表会等出席)	13千円	駐車場使用料	3千円	土地借上料(グループホーム「かえて」用地賃借料)	460千円
		35千円														
事務用品等	26千円															
光熱水費(網野コミュニティ広場水道料)	12千円															
有料道路通行料(セミナー・成果発表会等出席)	13千円															
駐車場使用料	3千円															
土地借上料(グループホーム「かえて」用地賃借料)	460千円															
主な財源																
評価・課題等	<p>○市民が活用している高齢者福祉施設の維持管理と高齢者福祉に関する事務事業について、円滑に実施することができた。</p> <p>○介護保険制度の改正等に係る事業を執行していくためのセミナー等に参加し、実施準備が円滑にできた。</p>															
事業所管課	健康長寿福祉部/長寿福祉課															